



増淵 一基
(自民党)

**J R宇都宮駅東口
地区整備事業
今後の進め方は**

問 J R宇都宮駅東口地区は、今後のL R T導入により交通結節機能が強化され、京都の玄関口としての魅力が一層高まると期待している。

①地区整備事業に関する市の基本的な条件等の提示による民間事業者との意見交換の状況は。また、今後どのように事業を進めていくのか。
②コンベンション施設は、4〜5千人程度を収容し、全国規模の会合が出来ないと魅力がない。どの程度の規模を検討しているのか。

答 ①民間事業者の事業計画の把握を目的とした調査に参加した全ての事

業者について、事業参画意向があると再確認した。

一部の事業者から、具体的な施設計画や事業費、市の負担額などについて更に精査したいとの申し出があり、28年度の早い時期に検討結果が提出される予定である。

その内容について実現性など様々な観点から検討を行い、慎重に判断した上で、事業化に取り組んでいく。

②これまでの調査や駅東口地区整備推進懇談会での検討を踏まえ、2千人規模の会議を主体に、様々な催事に対応できる施設規模や形態とすることを基本的な考え方として事業者に提示している。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（L R T軌道整備工事、地域内交通とバスとの連携、災害時における公共交通の連携・対応）
- ②I C Tを利用した行政データの有効活用
- ③食育の推進
- ④中央卸売市場
- ⑤道路照明のLED化
- ⑥第2次市文化振興基本計画



篠崎 圭一
(自民党)

**柔軟な勤務制度で
男性の育休推進を**

問 男性の育休については、仕事内容、企業の規模や家庭状況によって異なり、一定期間まとめて休む方法が簡単に普及するとは思えない。

家庭や仕事の状況に合わせて、出勤時間を遅くしたり、退社時間を早めるほか、お昼に一度帰ったり、必要なら休日や夜間に仕事をして、会社もそれを推奨し後押しするといった方法もある。

それぞれの状況に合ったフレキシブルな育児のための勤務制度に対する市の考えは。

答 市では、男女ともに働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる事業所を顕彰してお

り、独自に育児のための短縮勤務制度などを導入し、男性の育児参加を支援する取り組みを行っている受賞事業者などの事例を、ガイドブックにおいて紹介し、市内事業所へ配布するほか、市ホームページ、ポスターなどで広く周知している。

28年度には更に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた経営者層への研修会の開催や、中小企業へのコンサルタント派遣事業の実施など、男性の育児参加への支援に努めていく。

それぞれの状況に合ったフレキシブルな育児のための勤務制度に対する市の考えは。

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（全国トップ5のまちづくり、財政に対する考え）
- ②子どもの育成・教育（幸せな子どもの育成、生きる力を育む教育）
- ③里山保全と生物多様性
- ④ニーズに合った空き家対策
- ⑤誰もが快適に移動できる交通未来都市
- ⑥うつつのみや



五月女 伸夫
(自民党)

**岡本駅周辺 魅力
あるまちづくりを**

問 J R岡本駅周辺整備と今後のまちづくりについて聞く。

①東西自由通路・橋上駅舎の整備工事の進捗状況と今後の見通しは。

②利便性の向上や賑わいの創出などの効果が見込まれ、地域の更なる発展が期待されることから、地域の拠点としてふさわしい魅力あるまちづくりに取り組みべきであるが、どう考えるか。

答 ①主要な工程が順調に進み、全体の約4割が完了しており、29年3月の工事完成を目指し計画的に取り組んでいく。
また、一部暫定となるが、東西自由通路・橋上駅舎の供用を28年7月1

日から開始する。
②地域特性を活かした魅力ある拠点の形成に向けて取り組んでいる。

また、地元自治会を中心とする景観づくり推進協議会と意見交換を重ね、景観づくり指針を策定し、景観づくりに関する勉強会を開催するなど、良好な景観の形成に向けて取り組んでいる。

今後は、権利者の理解と協力を得ながら、28年度中に景観形成重点地区に指定するなど、北東部の拠点にふさわしい、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。



▲岡本駅西口イメージ図

その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢（28年度当初予算、L R T、技術監理機能の強化など）
- ②市町合併10年を迎え今後の地区行政の進め方（産業土木課の廃止、合併の総括と今後の地区行政の取り組み）
- ③立地適正化計画策定の進め方
- ④地球温暖化対策の推進
- ⑤合葬式墓地の整備